



俳句

玉井北男 選

散り際のことに燃えをり山つつじ 藤崎 泉
 日永なる支えの便り読み返す 三谷福美
 しななみの深き緑の風の音 曾我部美代子
 初孫を抱きふらふ、小さく揺る 三好清信
 雨粒を紡ぎて光る藤の花 川原利代
 柿若葉少し早めの昼支度 高橋和子
 啓蟄や大地に滲みる小糠雨 青野義明
 新茶汲み戦しむじみ語る夜半 伊藤通友

川柳

山之内さち枝 選

新緑へ一句捻ろう朧月 鈴木幸一
 筍を剥けば居そうなかぐや姫 高塚靖樹
 福祉にも課外授業で刻忘れ 西原おさむ
 ニッキ飴昭和の空気懐かしむ 宇高瑞子
 叱られてばかりのママにまといつき 越智ユリ子

子も孫も戻らぬ家の花菖蒲 今西比呂之
 八十路でもやる気根気のある元氣 秋山礼子
 罪のない牛の叫びが聞えるか 金子一孝

短歌

藤田虎雄 選

移植する黒森峠の濃き霧に莓の苗もわれも濡れつつ 青木かめ
 コトコトと雨樋伝わる音かすか夜明けいつし 青木タクヨ
 ら春の雨降る 青木タクヨ
 そよ風に身を委ねいる菜の花は蝶を抱いて静かに揺れる 秦 重光
 庭畑に一本突っ立つ葱坊主に蝶が舞ふなり止まるや否や 日和佐弥生
 桜咲き躑躅膨らみ藤垂るるいざ出で行かむ春の最中へ 伊東まゆみ
 浅蜷掘る行楽の人ちりばめし五月の空と五月の海は 塩見田鶴子
 あれこれと憶ひにふけるこの夜半鉄橋わたる電車の響く 森田 薫
 筆談に馴れてぼつぼつ緩む口 弱音吐いたり 渡邊トミ子
 愚痴こぼしたり

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先 〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

【お詫びと訂正】6月号の俳句に掲載した「篠崎泉」様は、正しくは「藤崎泉」様でした。お詫びして訂正いたします。

Your Friendly Neighbors

No.63 西条市の素晴らしい皆さんへ



▲外国語指導助手
ダニエル・ピエールさん

私が近いうちにこの素敵な所を離れなければならないのが信じられないです。2年前に東京で研修を受けてから西条市に来て、思ったより全部が小さくて田舎のように感じ、大都市にしか住んだことがなかった私は、一人で西条市に泊まるのを戸惑いながら家に着きました。しかも、いろんな意味で不安を抱いていたうえに、その夏の夜に大きな嵐がやってきました。嵐が激しく吹いて家が停電になりました。まだ慣れていなくて心地よくないベッドの上で、エアコンがきかないどころか扇風機さえなくて、幽霊に襲われるのかと思うほど怖い夜でした。しかし、精神的に嵐や停電に負けないように日本で頑張るか、次の嵐や生活で辛い時期がくるのを恐れて生きるかと思ったら、一生懸命西条市で頑張ることを決めました。だんだん田舎生活にも慣れ、西条がとても愛しい所になりました。立て干し網や西条祭りはじめ、英会話教室を通じて地域の方々と知り合うこともでき、2年間かけて素晴らしい思い出がたくさんできたのです。西条市民の思いやりや親切さに感心しています。いろんな人が自分の庭でとれた野菜や果物をくれたり、外にいる時に挨拶してくれたり、道に迷っていないかと心配されたこともあります。去年アメリカから家族が日本に来た時に茶道と書道の体験をさせてもらいました。しかも、西条でデジタルカメラを2回もなくしてしまったのに、2回とも返ってきました。最初は、実家から遠く離れた生活はどうか心配でしたが、今では離れなければならない時がどれほど辛いか想像が付きません。心の底から、この2年間のたくさんの思い出を作らせてくださった西条市民にお礼を申し上げたいと思います。皆さんにも外国へ行ったり、移住したりするスリルや幸福を味わってもらえたら、と思います。これからも、新しい方々を西条市に迎え続けてください。心より、ダニエル・ピエール

<訳：国際交流員ケイレブ>